

# 西塩子の回り舞台茨大チーム

ボランティア

課外活動

地域交流

代表者：人文学部社会科学科 2年 長永 勇太

## 連携先

西塩子の回り舞台保存会（常陸大宮市）（会長 大貫孝夫、事務局 岡崎強）

## 顧問教員

西野由希子（人文社会科学部・教授）

## 参加者

小松崎流緋（人文学部 2年）

大貫ひかる（人文学部 2年）ほか

## プロジェクトの概要

- 常陸大宮市西塩子地区で、3年に1度開催される「西塩子の回り舞台」を支え、その魅力を若い世代に伝えることを目的としている。
- 平成28年の「西塩子の回り舞台」の組み立て、公演をお手伝いし、一度、中断したあとで復活したすばらしい舞台に感激した1年生2年生を中心にこの活動をたちあげた。地域の伝統文化を継承し、この文化の「語り部」を増やしたいと考えた。

## プロジェクトの成果報告

- 「西塩子の回り舞台」保存会が、組み立てのない年にも継続されている「回り舞台の里へようこそプロジェクト」に協力し、保存会と地区外から参加される方たちとの交流活動（田植え、稲刈り、味覚祭）に参加した。
- 「回り舞台の里へようこそプロジェクト」

の田植えでは、「早乙女」の衣装を着せてもらったが、その衣装を使って同じ常陸大宮市の山方（諸沢地区）で、「常陸大宮市地域おこし協力隊」が主催した「田んぼ88プロジェクト」の田植えが行われたので、そちらの活動にも参加した。

「西塩子の回り舞台保存会」は、諸沢地区で7年に1度開かれる「西金砂神社小祭礼」の前の開催のときに協力をしている。両地区は、ともに貴重な伝統文化を伝えているが、地区の人口減少、高齢化という問題を抱えていて、地区どうしの交流、協力がはじまっている。今回もそのような機会に、茨大の学生も参加できたことに意味があったと思う。

- 次回の「回り舞台」組み立て・公演は、平成31年秋の予定なので、その組み立て・公演へ向けて、学生ができることを考えながら、協力・協働していきたい。

